

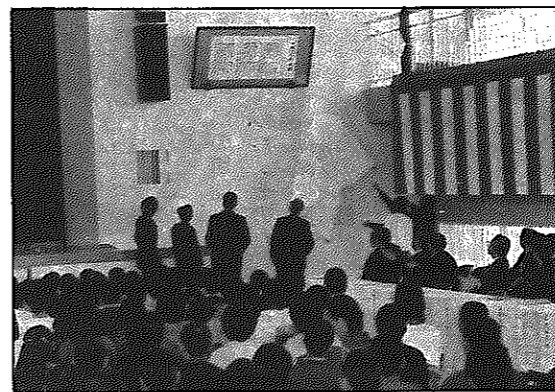
大鷲小学校・小林小学校で校歌発表会 心待ちにしていたぼくらの校歌ができた



心待ちにしていた校歌を、大きな声で力いっぱい歌いました



喜びの校歌発表会（大鷲小学校で）



校歌額の除幕（小林小学校で）

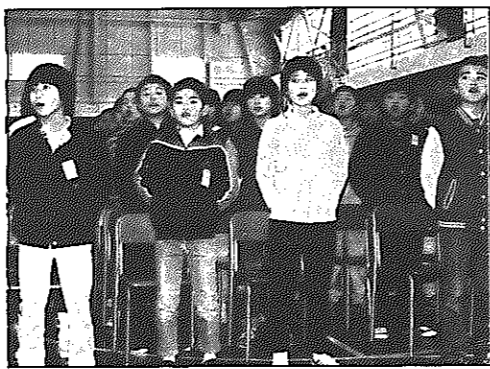
待ち望んでいた校歌を、声高らかに歌う子供たち。三月十・十一日、大鷲小学校と小林小学校でそれぞれ喜びの校歌発表会が開かれました。
児童数の減少や校舎の老朽化などから、昨年の四月に統合して開校した両校。地域一体となった学校づくりが進められてきましたが、ただ一つ残念だったのは、校歌がなかったこと。子供たちからも、

「先生、校歌はいつできるの。早く作ってよ」とさきそくされていきました。このため、両校とも校歌制定委員会を設けて、学校・地域あけて取り組み、二月中に校歌が完成、今回の発表会となりました。
大鷲小の校歌は、作詞が市内の小学校に勤務したこともある県社教主事の笠原 誠さん、作曲が東蒲鹿瀬小学校長の錫村 亘さん。歌詞を揮ごうしたのは地元の大鷲小の田部 智子さん。

「親しみやすく、しかも格調をもった内容に心がけました。また、確実に覚えてもらうために歌詞を二番までとしました」と、作詞にあたった笠原さん。
また小林小の校歌は、同校の鈴木栄佐美校長の作詞で、新発田市七葉小教頭の荒井清志さんが補作。作曲は、武蔵野音大助教授の大滝雄志さん、地元出身の吉田昭永・根岸小学校長が揮ごう。作詞した鈴木校長は、「ふるさとの美しく豊かな自然と、その自然の教えを心に受けとめながら、子供たちがめざしてほしい姿をうたいこみまし」と、話していました。
発表会では、父兄、先生が見守る中を、子供たちは元気いっぱい歌いました。

また、二十四日の卒業式では、「新しい校歌を歌って、第一回目の卒業生を送ることができて本当にうれしい」と、関係者の喜びもひとしおでした。

大鷲小学校



校歌

笠原 誠 作詞
錫村 亘 作曲

一、弥彦の高きは理想の高き
大地の堅きは闘志の堅き
自然の恵を両手に受け
伸びゆく元気に力のかぎり
われらの大鷲
みんなの大鷲

二、信濃の深きは知性の深き
平野の広きは気持の広き
自然の恵を体へ受けて
励もう元気に 若さのいきり
われらの大鷲
みんなの大鷲



6年 栗林 律子さん

すぐに覚えられたし、とても歌いやすいんですよ。校歌を歌って卒業することができ、うれしいですね。また、歌詞にあるような人になりたいと思います。



6年 遠藤 則之君

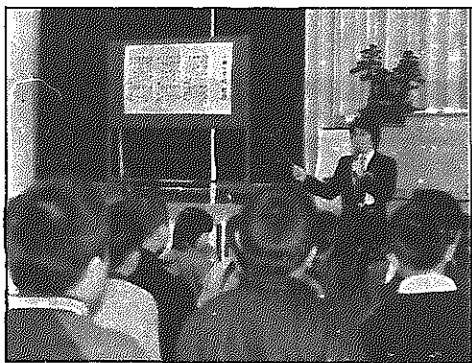
初めて聞いたとき、とてもいい校歌だと思いました。学校から見える弥彦山が、歌詞の中に入っていたこともいいですね。卒業まで間にあってよかったです。



5年 田部 智子さん

先生に早く作ってよと言っていました。だって、学校行事のときに歌えなくてさみしかったです。校歌ができて本当にうれしいです。二番までなので覚えやすいですよ。

小林小学校



小林小学校 校歌

作詞 鈴木栄佐美
作曲 大滝雄志

一、護摩堂山にわく雲が
今朝もわれらに呼びかける
桃の香におうふるさとの
緑の丘に 学びつつ
たくましい子に育つよと
われらの小林小学校

二、信濃の流れ 中之口
はるかな歴史 映しつる
大河の恵み 身にうけて
真理の世界 求めつつ
こころ明るく進もうよ
われらの小林小学校

三、豊かな大地 蒲原の
稲穂のそよぎ かおる風
光あふれる 学び舎に
友を呼びあう 声たかく
明日の輝きを築こうよ
われらの小林小学校



6年 柳通 登君

今まで校歌がなくて、さみしい思いをしていたので、大変うれしいです。歌詞は、白根市のことをうたっているようで好きです。すぐ覚えられました。



6年 平山 照美さん

元気があって、とても歌いやすい校歌です。卒業式までに間にあってよかったです。でも、できたばかりの校歌と別れるのは、何かさみしい気がします。



5年 池田 貴一君

これが、ぼくらの学校の校歌なんだなあと思いました。歌詞の最後の「われらの小林小学校」という部分が入っています。覚えやすく、いい校歌だと思います。